

TSUNAN-MACHI



津南中学校・北信越駅伝大会堂々の7位



新春出初め式



中越地区中学校スキー大会

12月定例議会 (12/18~20)

一般・特別補正予算	P2
条例改正・請願・陳情	P4
一般質問11名	P6
議会からの政策提言	P12
議員紹介・議会構成	P14
シリーズ 私も一言	P16

12月定例会

改選後初の定例会開催

新人議員4名を含む11名が一般質問

平成19年12月定例会は12月18日から20日までの3日間開催され、今回より16名となった議員のうち11名が一般質問に立ちました。入院加療中の小林町長に代わって町長職務代理者滝沢副町長が答弁をし、9月定例会より導入された「一問一答」方式により活発な質疑が展開されました。



県下初の女性議長誕生

19年度一般会計補正予算
職員給与の改正及び社会福祉費、国体準備費等により歳入、歳出共に820万円の増額となり予算総額56億3,274万円となる。

◎歳入		国県支出金	△1,611万円
		財産収入	264万円
		繰越金	1,257万円
		諸収入	60万円
		町債	850万円
◎歳出		議会費	△141万円
		総務費	△333万円
		民生費	2,547万円
		衛生費	△235万円
		農林水産業費	△1,584万円
		商工費	△104万円
		土木費	49万円
		教育費	621万円
◎主な補正予算の内容		総務費	消雪井戸、公用車修繕料 公用車燃料費
		民生費	原油高騰に伴う燃料費補助 地域生活支援センター負担金 すみれ工房除雪機械補助 集落内消雪施設整備補助
		土木費	北信越中学駅伝遠征費補助 バイアスロン大会視察研修費
		教育費	人件費

19年度特別会計補正予算

- ◎国民健康保険会計
補正額 △3,062万円
総額 11億6,175万円
(主な内容) 老人保健医療費及び介護納付金の確定による補正
- ◎老人保健会計
補正額 120万円
総額 16億8,141万円
(主な内容) 医療費支給の増額による補正
- ◎介護保険会計
補正額 5,797万円
総額 11億7,687万円
(主な内容) 介護サービス受給者の増による補正
- ◎簡易水道会計
補正額 8万円
総額 1億5,348万円
(主な内容) 運営基金利子の増による補正
- ◎下水道事業会計
補正額 △197万円
総額 9億5,672万円
(主な内容) 工事請負費の減による補正
- ◎農業集落排水事業会計
補正額 513万円
総額 2億8,393万円
(主な内容) 修繕料の増による補正

主な質疑

- 問** 職員駐車場の消雪井戸の修繕が計上されているが町民のためにも庁舎前の駐車場の消雪パイプ修繕が優先ではないか。
- 総務課長** 現状は機械除雪で対応しているが、ご指摘のとおりであり町民にご迷惑をかけないよう早急に調査し検討したい。
- 問** 福祉協議会に何年間補助金を出すのか。また正式名称は。
- 総務課長** 投資額は5千万円ほどかかっているが、これを平成二十年度から十年間補助金として対応する。名称は津南町福祉センターとする。
- 問** 福祉センターの投資額に対してどのくらい補助金として支払うのか。金額的にも高いと思うが。
- 総務課長** 投資額は5千万円ほどなので、一年間約580万円を十年間福祉協議会に補助金として支払う。また、工事の内容として建物の改築工事だけではなく、外構工事、消雪パイプ、耐震工事等も含まれていて適当な額である。

- 問** 原油高騰に伴う灯油助成について助成世帯の内訳は。また、国の交付税措置ができれば助成対象世帯の範囲を広げてはどうか。
- 福祉保健課長** 全体で350世帯として内訳は高齢者世帯290、障害者世帯30、母子世帯10、病弱者その他世帯20である。
- 町長職務代理者** 原油高騰の影響は全国的な問題でもあり町全体にも影響しているが今回は当面弱者優先の中で対応し、年末に該当世帯に出向き町職員が直接支払う。
- 問** 国民健康保険被保険者の7割軽減、5割軽減の対象者が減った原因は何か。税制改革により所得控除がなくなった影響はないか。
- 福祉保健課長** 所得が増となったのかどうか色々なことが考えられると思うがはっきりした原因はわからないのが現状である。
- 税務町民課長** 国保対象額の算定は所得税、町民税の算定基礎となる課税所得ではなく各種控除前の所得で算定しているのだから一概には



灯油助成金直接配布

深刻な**医師不足**を打開するための **法律の制定**を求める**意見書**

—陳情—
受理3件
採択3件
(意見書提出)



医師が足りない

要旨 全国で医師不足により地域の病院、診療所が閉鎖に追い込まれ、必要な医療が受けられないでいる。出産を扱う病院が2002年の半分以上、携わる医師も4分の3に減少している。このまま放置すれば国民の医療は大変な事態になる。よって医師の養成拡大、勤務条件の改善、医師確保に向けた必要な法律を制定することを求めるものである。

提出先
・内閣総理大臣・財務大臣
・厚生労働大臣・文部科学大臣

要旨 歯や口腔の機能が良好である場合には、全身の健康、介護、療養上の改善に大きな役割を果たすことが厚生労働省の厚生労働科学研究などで実証され、その結果として医療費を抑制する効果があることが「8020運動の実績」で実証されている。しかし、患者の窓口一部負担が重くなっている。また新治療法は保険適用外。

提出先
・衆議院議長
・参議院議長
・内閣総理大臣
・財務大臣
・厚生労働大臣



歯は人生そのもの

米価の**安定対策**を求める

—請願—
受理3件
採択1件
(意見書提出)



基盤はできた……安定化による後継者を

要旨 今年の米価下落は農家のみならず、地域経済にも重大な影響をもたらすものである。
①備蓄水準を100万トンから200万トンに増やし、備蓄役割を終えた古米混入を主食以外の用途に振り向ける。米価に影響を与えず米を規制するためJAS法を改正する。
②10万トンに及ぶSBS米の主食転用販売を中止する。
③生産調整を生産者団体まかせにせず政府の責任で行うこと。

提出先
・内閣総理大臣
・農林水産大臣

不採択
・平成20年度政府予算において、消費税の税率引き上げをおこなわないことを求める請願
・新テロ特措法案を撤回し、アフガニスタンへの民生支援の強化を求める請願

要旨 道路は住民の生活、経済、社会活動を支える最も基礎的な社会資本である。本町では
①117号の整備促進
②国道353号(十二峠)の改良工事の早期完成
③国道405号の未開通部分の解消や道路改良
④国県道の雪崩防止等の防雪対策等の課題を抱えており「安全安心な地域を支える道路」に程遠い状況である。こうした中、国会、政府においては道路整備の重要性を重んじ、関係法令の成立を強く要望する。



まだまだ必要!

提出先
・衆議院議長
・参議院議長
・内閣総理大臣
・財務大臣
・総務大臣
・国土交通大臣
・経済財政政策担当大臣

—一条例改正— **人事院勧告 若手の 給与改定**

初任給を中心とする若手層に限定した給与月額引き上げ、扶養手当の引き上げ、勤労手当率の引き上げ、以上のような内容が主なところ。人事院の勧告を受けて実施するのは9年ぶりである。
当町の職員の場合は、昇給月が全員1月になった。その1ヶ月前に一般職員は各課長が、課長の場合は副町長がそれぞれの実態を把握し偏りのないよう調査、査定をする。



若手も頑張れ、負けるなベテラン

『**看護師等の人材確保の促進に関する法律**』 の**改正**を求める**意見書**



行きとどいた看護するには!

要旨 今看護の現場は、平均在院日数の短縮などによって業務量が大きく増え、かつてないほど過酷な勤務実態となっており、離職の相次ぐ中で看護職員不足が深刻な問題となっている。看護職員の確保に関しては、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」及び「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」によって定められた離職を防止し、働き続けられる職場を作るために、現行法を

提出先
・内閣総理大臣・財務大臣
・厚生労働大臣

①夜勤に関する最低規制を盛り込み実効性を担保すること
②「基本指針」を「看護職員確保計画」に改めて、看護師確保を計画的にすすめる仕組みを作ること
③看護師養成数を拡大すること。などを求めている。

若者雇用、職場確保対策が必要

町長職務代理者…定住促進策を図っている

▼▼▼高橋孝男議員

若者の職場・定住の促進

問 若者の職場確保の面から今やらなければならないことが多く山積し、重点項目として、若者職場確保対策が必要と思う。

町長職務代理者 定住促進策として、工場、福祉施設が拡大している。今後津南の特性にあった企業の誘致に努力する。

国道と中津川運動公園の早期完成を

問 117号大倉トンネル、405号改良、中津川運動公園早期完成のため、促進決起大会を開催し、県、国の政治力を集積してはどうか。



大倉トンネルの早期完成を

津南病院に整形外科の常勤化を

問 病院の充実と経営の安定化のために、ぜひ整形外科の常勤化が必要である。

町長職務代理者 整形外科の常勤化に向けて、関係大学病院にお願いをしている。

バイオマスタウンの実現に向けて

町長職務代理者：今後具体的に取り組みをしたい

▶▶▶伊林康男議員

バイオマスによる地域資源の有効活用を

問 21世紀は環境の時代と言われている。環境破壊を抑止するためリサイクルを促進し、地域資源の有効活用による新たな産業の創造を図る、地域再生のプロジェクトをどのように考えているか。

町長職務代理者 バイオマスタウン構想は、今日の地球規模の温暖化に伴うCO₂の削減や、化石資源に代わるエネルギーの変化のためのバイオマス利活用など、環境問題の顕在に伴い重要性が求められている。化石燃料に代わる環境に優しいバイオエタノール、バイオ



リサイクルで優良堆肥作り

エネルギーは、我々人類の行く末を考えると、極めて重要なテーマである。

平成15、16年の2ケ年に、新たなエネルギービジョンを策定し、津南の持つ資源を活用した新エネルギーの促進で、どんな事業創出が可能か、どのような環境型社会が形成できるか調査研究をした。また、津南の持っている潜在的資源量を調査するなかで、具体的な事業化できる可能性について研究もした。ただちに事業化する事については、なお慎重な研究が必要である。これは町として重要な課題であるので、先進事例に学びながら、今後具体的な取り組みを展開したい。

猫の目農政ではない津南農政の確立を

町長職務代理者：農業で自立を目指す農家の育成が必要

▶▶▶大平謙一議員

津南農業の現実と国の政策とかけ離れている

問 7月の参院選の結果、農政も見直しが行われている。しかし、大規模化、企業化の方向性は変わっていない。津南の独自性、特性を活かした農政の確立を示してもらいたい。農家規模や農地の集積について伺う。

町長職務代理者 生産活動の合理化、コストの低減、所得の向上は必要であり、集積は年々進んでいる。

問 今まで原則農地は所有者が耕作者としてきたが、農地法改正により、所有と耕作が分離される。集積規模拡大路線を町はどう考えているか。

町長職務代理者 農民は所有者意識が強い。基本的に農地の有効利用を図って行くには、所有と利用の分離が大原則。津南ではいち早く農地保有合理化事業を展開している。



地力の増強で生産力も向上

定基準は、津南独自の基準にできないか。

町長職務代理者 品目横断の担い手については緩和の方向である。市町村の裁量で認定できる形であるが、国の農政は口では言うが、実際細部の施策になると枠にはめられるのが実態である。

問 住民の高齢化による、集落機能の低下の対策は、**町長職務代理者** 集落機能低下については、原因の多くは国土政策、農業政策に起因している。現在、国を挙げて多様な取り組みをしている。

町民の自律プランに対する理解度は

町長職務代理者：町民と協働で自律の町づくりに努める

▼▼▼半戸哲郎議員

再度の町民懇談会を実施するべきではなかったか

問 平成17年3月に自律に向けた町づくりの報告書が全戸配布されたが、町民にどの程度理解されているのか疑問である。ほとんど理解されていないのが現状である。この事をどう捉えているか。

町長職務代理者 町民に関心を持たれていないのも事実である。しかし、子供たちは非常に関心を持っており、津南中では3年間自律に向けた町づくりの提案を行っている。反省点は反省点として自律に向けて町民と行政との協働のなかで町づくりを進めていかなければならないと思っている。

町民、職員共に関心の薄いなかで自律プランを進めたいか
問 3月に自律推進チームを発足させたが、職員の3割しか参加がなかった。秋には自律検討委員の一般募集40名であった。このような関心の薄い状況のなかで、自律プランの作成を進めて良いのか。



津南中生徒による町への提案

町長職務代理者 今回はこれで良いと思っている。職員の政策形成能力を養って行くことに期待している。職員がテーマを持って研究し、政策提言していく取り組みがあっても良いのではないかと。できた課題を職員討議に諮り、更に住民の意見を聞くなかで、方向性を決めたい。

冬期保安要員制度の存続・拡充を

町長職務代理者：県に対して強力な要請を実施していく

藤ノ木浩子議員

高齢者の生活と定住 できる雪対策が必要

問 津南町で高齢化比率が50%を超えているのが17行政区ある。高齢者世帯の生活を守り、定住の条件となるのが雪対策であり、今後さらに、冬期保安要員制度の拡充が求められてくると思うが、制度の対象か

ら外された集落をどう支えていくお考えか。

町長職務代理者 昭和50年から34年間実施されて大きな貢献が図られてきた。平成21年廃止が予定されているが、高齢者のみの集落が増えてきている豪雪地域では容認できない。県に対し強力な要請を実施していくねばならない。豪

雪にあたり町単独でも実施をし、住民の安心・安全を守りたい。

問 栄村の豪雪救助員制度はすばらしい。十日町市は集落安心づくり事業を全市に広めたいが、これらの検討もせよ。

町長職務代理者 雪処理の担い手をいかに確保していくかが課題であり、豪雪地の窮状も訴え、新制度を国・県に求める。

妊婦検診の 公費負担の拡充を

問 保険適用外の妊婦検診は負担が大きい。国は公費回数14回が望ましいとしているが、**町長職務代理者** 来年度拡充に向け検討。回数はご期待。



保安要員の確保を

卯ノ木

豊船橋間の改良

問 現道拡幅で方向付けができたのか。地元関係者への説明はどうなっているか。

町長職務代理者 地元への説明の後測量が行われた。厳しい県財政下と思うが、早期完成について要望している。

総合福祉センター 建設は

問 福祉関係者の長年の夢である総合福祉センターの建設

生活支援体制 の確立は

問 ホームヘルパー養成研修を津南町で行わないか。
町長職務代理者 実施機関は会福祉協議会と相談しながら考える。

町長職務代理者 総合とまでは行かないが、旧集会所の改良で拠点はできた。調理場は厳しい町財源では困難であり、現施設で対応願う。

待望久しい改良工事

町長職務代理者：法線変更で早期実施へ

福原照男 議員



望まれる道路改良

19年度の病院経営は

町長職務代理者：昨年同様の赤字が見込まれる

大島知美 議員

町の基幹病院 の行方は！

問 19年度の病院経営の推移は。

町長職務代理者 昨年同様の赤字が見込まれるが、昨年より300万円改善し、10月末で8千500万円のマイナスである。入院収益の減少、外来収益の減少ではあるが、費用面での減少もあり、当初予算も少ない昨年並みの収支になるのではないかと。更に、延長外来や土曜診療の実施により、改善に努めたい。

問 予算のなかで賃金関係は11億円、他の費用は8億5千万円である。もう削減は無理ではないか。

町長職務代理者 昨年並みの持ち出しは考えている。一般会計が苦しくとも出していく。



打ち合わせは念入りに！

町長職務代理者 病院経営のなかでは賃金が大きなウェイトを占める。他同等病院と比較しても高くなく、平均的比率である。削減は病院一丸となって努めるが、医療サービスも提供していかなければならない。効率だけの削減には限界がある。

問 病院を維持するための地域連携の考え方は。

町長職務代理者 今以上に広域、地域連携を考えていかなければならない。

問 赤字状態が続くとすればどの程度まで支援を考えるか。

来年度予算と自立を確立するための施策は

町長職務代理者：健全財政を貫きサービス水準を守る

大口 武 議員

健康づくり推進 町を宣言したい

問 来年度予算の重点は何か。また、自律を確かなものにする施策は何か。

町長職務代理者 防災(広報無線の計画を前倒しし、2年で完了させた)。また、町民の健康を守る町づくり計画では、来年6月に日本一の健康長寿の町として「健康づくり推進宣言の町」を宣言したい。

自律に向けての理念は、住人の暮らしを守り、サービス水準を落とさないことで予算編成をする。節度ある財政運営のなかで健全財政を貫くことが必要だ。

ごみの有料化は 必要か

問 有料化してもごみは減らないとされている。



ゴミ収集車

衛生施設組合への負担金が減少しているなかで、ごみ有料化は必要か。

町長職務代理者 十日町市は松ノ山、中里地区が津南地域衛生施設組合で無料、他の地域は有料となっており、有料化は十日町市からの要請であ

る。これは十日町市の事情であって津南町としては有料化の必要はないと明確に申し上げており、町長も同じ考えである。本町が積極的に有料化したのではない。

兼業農家に少ない生産調整を

町長職務代理人：集落ごとの傾斜配分を行っている

▶▶▶ 根津 勝幸 議員



荒廃化が懸念される生産調整

兼業小規模農家には少ない生産調整を

問 農地の荒廃化を懸念し、米需給生産調整を兼業、小規模農家には少なく割当てできないか。

町長職務代理人 転作配分については県内では担い手農家優遇という意見もあるが、本町は従来から標高が高く基準収量の低い集落には傾斜配分を行い、農地の荒廃化を防ぐための取り組みを行っており、これを継続していく。

学力向上対策に「妻有検定」を

問 自分たちの土地柄について

ていところ、地形、歴史、文化など十日町、栄村を含め広域的に知るところを学力のベースとし、学力向上対策のため町独自の「妻有検定」を実施してはどうか。

教育長 地域の体験を通して地域のすばらしさを学ぶ、そこが総合学習の狙いである。歴史、史実、民俗、文化、そのことを通し地域を誇りに思い、教科で学んだことを生かしながら地域のことを学ぶ「妻有検定」にいきつくと考える。総合学習が2011年より少なくなる。町内だけでなく広域的連携の中でどれだけ作り上げられるのか検討課題と認識する。

農業立町の理念をどう考えるか

町長職務代理人：農業振興こそ有利であると考える

▶▶▶ 滝沢 茂光 議員

農業助成打ち切り等は政策転換か

問 各生産組織はリスクを伴う試作等を行っている。助成することにより取り組みも円滑に行く。一例として、切花組合では数年前までの助成の活用で販売成績を伸ばしている。僅かな助成が大きな活力となるが、検討の考えはないか。

町長職務代理人 補助金については時限性を持たせている。立ち上げが容易でない時には相談のうえ可能な限り支援する考えである。

今後廃棄物処理施設計画が出た時の町の方針は

問 先般赤沢地区に計画された汚泥処理施設は同集落の臨時総会で全会一致で反対決議となった。今後このような案



環境向上に取り組む児童たち

件が持ち込まれた場合、町はどう対処する方針が伺いたい。

また、販売大手の生協では汚泥堆肥を利用した農産物は扱わない等、より安心、安全が求められるなか、我が町は環境の向上こそが大きな活力になる。ピンチをチャンス

に変えるよう、行政で対応すべきと考えるかがか。

町長職務代理人 多くの町民の意志として、また、町の意志として、今後このような施設を受け入れる事はないということを確認し合ったものと考えているところである。

まちづくり成功の方程式と「どのよう」な考えか

町長職務代理人：行政と住民の協働が最も重要

▶▶▶ 藤木 正喜 議員

まちづくりのために必要なものは

問 まちづくり成功の方程式として「知恵」と「情熱」と「社会的使命感」と言われているがそのためには住民やNPOとの協働が必要ではないか。

町長職務代理人 まちづくりの基本は行政と住民の協働が最も重要であると認識している。住民の関わりはさまざまに開わり方があると思うが何らかの形として参画していただきたいと思う。NPOからは行政の手のまわらない部分を力バリー頂き関わりを持っていただくことが重要である。



間伐材の整備とペレットストーブ

木質バイオマス（ペレットストーブ）の活用は

問 地球温暖化対策、森林活用によるバイオマスの活用は。

町長職務代理人 資源として当町は豊富にあると思う、これを活用するためには搬出するコストなど問題もあるが

昨今の重油の値上がりなどにより木質ペレットが単価的にも見直されてきている。県内にもペレット製造会社設立され、今後幾つかの拠点を作りたいとの話もある。魚沼地方にもひとつくらい拠点が必要ではないかとの案件もある。津南町森林組合にも期待するところが大きい。

新春を迎えて

議会議長 藤ノ木 富有



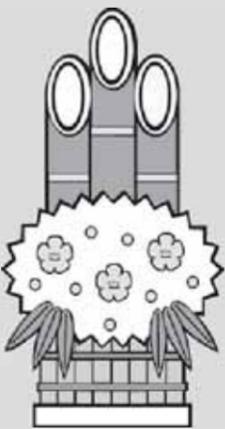
謹んで新年のお慶びを申し上げますと共に皆様様にとりまして、本年がすこやかで平穏な年でありますよう心からご祈念いたします。

当議会は昨秋、改選期を迎え新議員16名により新たに議会構成がなされ4年間のスタートをきりました。私は議長をお受けするに当たり「町民協働」「町民の意思を反映する議会に近づきたい」という思いのなか議会による「出前の議会報告会開催」等を公約させていただきました。今年はいよいよ具体的な方策について議員同志で勉強検討を重ね、町民の皆様のご理解、ご協力を

得ながら実践に向って、焦らず、一つひとつ、キチンとやってゆきたいと思っております。

一方、地方自治は平成20年、正念場の新たな段階が想定されます。例えばバイオ燃料、ふるさと納税、水源の里基金、客観的指標に基づく連結決算等……。

みんなで知恵を出し、汗を流せば、森林や耕作地を多くもつ当町は、自然を宝に思われ地域再生、活性化につながるものと期待がふくらみます。あきらめない気持ち、勇気、思いやりの一年であらんことを念じております。



建策 議会より町長に具申

産業建設

総文福祉

総文福祉・産業建設常任委員会は、長期にわたる要望事項も含め80件を20年度予算編成に合わせ町長に要望し、答弁をいただきました。その一部を掲載いたします。

【総務関係】

飯山線の存続、改善について引き続き関係市町村並びに関係諸団体と連携して運動し、特に冬期通学车両確保を要望されたい。また、駅前冬期駐車場確保と周辺整備並びに駅周辺駐車場の有効活用を図られたい。

町長 飯山線については、沿線市町村と連携し存続と利便性の向上に向け努力する。特に通学车両の確保をこれから

も要望してゆく。津南駅前駐車場の確保等についても引き続き実施するとともに、駅周辺駐車場の有効活用についても、地域住民の提案をいただき、検討してまいりたい。

【福祉保健関係】

国民健康保険料、介護保険料については、被保険者負担の軽減に引き続き努められたい。

町長 国民健康保険料につい

ては、後期高齢者医療制度の開始による影響がどの程度になるか、現時点では困難であるが、健康づくり事業を推進し、医療費の軽減に努め、健全財政を維持しながら、保険料の引き上げは極力しないよう努める。介護保険料についても介護サービスの多様化で利用増加が見込まれるが、引き続き負担軽減に努力していきたい。

【学校教育関係】

義務教育に係る税外負担は極力避けられたい。

町長 義務教育費の税外負担は極力避けるよう努めている。部活関係や部活対外試合等遠征、PTA、学校後援会等の経費は、それぞれの組織等で決められるものである。

【生涯学習関係】

社会体育については、指導員等の育成と待遇改善を図るとともに、特に常勤指導員の待遇改善に引き続き配慮されたい。

町長 指導員等の育成、待遇改善、特に常勤指導員の待遇改善については、体育指導員

を各地域に配置したり、各スポーツ団体においては、指導者としての資質を高める育成指導を行っている。待遇改善については経済状況の変化に対応した措置を考えている。

【病院関係】

地域住民の要望に応えるべく在宅医療の充実を図り、自治体病院の経営健全化のため国県の財政措置を強く要望し診療報酬引き下げの中止を強く求めていただきたい。

町長 津南病院は「寝たきりゼロを目指し、健康寿命を延ばそう」を目標に日々「プライマリーケアと予防医学の推進」に力を入れて診療を行っている。

具体的には、往診・訪問看護に向の他、禁煙外来・生活習慣病教室の開催により、病気の予防と治療、更に、働き盛りの人を対象とした週1回の延長診療も行っている。医師確保対策を初め、診療報酬の改定や交付税措置の充実については、全国自治体病院開設者協議会や自治体病院協議会を通じ、積極的に要望を行っている。

【農林関係】

土づくりの強化対策として安全良質堆肥増産のため堆肥センターを活用するとともに耕畜連携の支援も含め、農家負担軽減の継続、並びに連作障害対策として、緑肥栽培等にも助成を図られたい。

町長 13年度堆肥センターの増設及び、施設改善を行い、品質は格段に向上した。価格も1tあたり1,500円(普通堆肥)と2,500円にしたい。農家にも大変好評である。今後も積極的活用を願いたい。緑肥については、自らの経営努力、営農活動のなかで取り組んでいただきたい。

【商工観光関係】

村おこし事業を推進し、全町民一体となった地域活性化のための指導援助の強化、確立を図られたい。

町長 村おこしについては、各種の事業を活用しながら、一方では自らの地域のこと自らが基本とし、行政と町民がともに協働して、町づくりを進める必要があると考える。

【町道関係】

道路財源の確保に努め、町道改良並びに、舗装事業の推進に努力されたい。

町長 町道改良は幹線道路、集落内道路とも多くの要望がある。優先度を勘案し、財源確保も含め、計画的な実施に向け検討する。

【除雪関係】

除雪道路の延長とともに、生活道路確保のために消雪パイプの設置を図られたい。また、現行の工事費限度額の引き上げと負担軽減を図られたい。集落内道路の電気料も助成対象とされたい。

町長 消雪パイプは、住宅密集地を優先に取り組んでいる。工事費の限度額引き上げと電気料助成については現状は厳しいと考えている。

【克雪対策関係】

克雪住まいづくり支援事業を継続するよう、県に強く要請し、国の制度化の働きかけを。そして、道路除雪要員の待遇改善を図り、作業の安全確保に努められたい。

町長 克雪住まいづくり支援事業は今後も継続するよう要請していく。除雪要員の待遇改善については、これまでの水準を落とすことなく対応するとともに、安全にも万全を期したい。

【上下水道関係】

住民負担を考慮するなかで、つなぎ込みに対して努力されたい。

町長 下水道の本管布設工事は今年で概ね完成する。今後町民個々での協力を賜りながら、つなぎ込みの促進を図ってまいりたい。



新鮮なつなん野菜直売所



津南駅 (リバーサイド津南)

新議員の横顔を紹介します (議席番号順)

- ① 党派、当選回数
- ② 趣味
- ③ 主とする政治課題



半戸 哲郎

- ①無所属 1回
- ②盆栽・ゴルフ
- ③集落や地域が元気のでる町づくり。そして町民が夢と希望のもてる町づくり。



高橋 満男

- ①無所属 6回
- ②パソコン ゴルフ
- ③安心安全の生きがいある町づくり。



伊林 康男

- ①無所属 2回
- ②柔道・ゴルフ・読書
- ③産業創出による就業機会の拡大。よりよい環境と生活基盤を次世代にのこす。



河田 強一

- ①無所属 3回
- ②スポーツ
- ③産業の活性化
生活環境の向上



吉野 徹

- ①無所属 4回
- ②旅行
- ③雇用確保、若者定住促進、福祉向上など町民参加の町づくりに尽くしたい。



高橋 孝男

- ①無所属 2回
- ②囲碁
- ③議員としての政治課題
(1) 徹底した子育て支援策。
(2) 働く場の確保、津南産業の確立。今後10年が勝負。
(3) 若者の定住促進策推進。



藤ノ木 浩子

- ①日本共産党 3回
- ②コーラス・スポーツ
- ③くらし・子育て・介護など住民要求実現に力を尽くし、身近な生活相談にも対応していきたい。



大口 武

- ①日本共産党 7回
- ②推理小説をゆっくり読みたい
- ③自立を守り 農業再建、福祉、暮らし最優先の町政をめざしたい。



草津 進

- ①無所属 4回
- ②スポーツを見るやる(何でも)
- ③人が元気、町が元気、自然が元気、「人づくり」人と人とが信頼し一丸となって支えあえる町づくり。



滝沢 茂光

- ①無所属 1回
- ②舞踊、書道、美術鑑賞
- ③病児保育等思いやりの福祉・農業立町の理念の追求・自然環境、生活環境の向上は観光にとっても不可欠、調和のとれた町づくりの推進



大島 知美

- ①無所属 2回
- ②何でもチャレンジすること
- ③津南町の夢づくり



大平 謙一

- ①無所属 3回
- ②米づくり
- ③農業振興と後継者対策、皆様の意見を聞いて町政に反映させます。町中央地区の活性化に力を入れます。子育てしやすい町づくり老後も安心して住める町づくり。



藤ノ木 富有

- ①無所属 4回
- ②ミニ花公園づくり
- ③「住民との協働の町づくり」は、住民との情報共有、課題の透明化、声に耳を傾けることから。



根津 勝幸

- ①無所属 2回
- ②料理・山菜取り
- ③農業を基幹産業と位置付け、商工観光業ともバランス良く、発展・振興させたい。私たちがやって来たこと、これからやろうとすることを検証し、子どもたちに誇れる町づくりをめざす。



福原 照男

- ①無所属 1回
- ②旅行
- ③モットーである「縁の下の力持ち」として、1人では出来ないことを、大勢の者が力を合わせ実現する一員でありたい。



藤木 正喜

- ①無所属 1回
- ②おせっかい
- ③協働による街づくりでしょう。そのために今何をすべきかです。

選挙管理委員(敬称略)
 選挙管理委員補充員
 丸山 政友 外丸
 樋口 一男 正
 高橋 紀久郎 見玉
 駒形 和貴 船山

津南町選挙管理委員及び補充員選出

平成19年12月24日で任期満了となる大澤隆氏の再度選任に同意しました。

津南町固定資産評価審査委員の選任

平成19年12月20日で任期満了となる粉川正明氏の再度選任に同意しました。

津南町教育委員の任命

平成19年12月20日で任期満了となる渡邊トシ氏を適任とすることとした。

監査委員の選任

議会改選により新たに高橋満男氏の監査委員選任に同意しました。

人権擁護委員の推薦

平成20年3月31日で任期満了となる渡邊トシ氏を適任とすることとした。

議会運営委員会

委員長 吉野 徹
 副委員長 藤ノ木浩子
 委員 河田 強一
 大平 謙一
 伊林 康男
 高橋 孝男

産業建設常任委員会

委員長 河田 強一
 副委員長 大平 謙一
 委員 大口 武
 藤ノ木 正喜
 大島 知美
 滝沢 茂光
 吉野 徹

総文福祉常任委員会

委員長 伊林 康男
 副委員長 根津 勝幸
 委員 藤ノ木浩子
 福原 照男
 高橋 満男
 高橋 孝男
 半戸 哲郎
 草津 進

議会構成役職

議長 藤ノ木富有
 副議長 草津 進



シリーズ・町民の声
私をひと言

「新聞を読んで」

十二ノ木 村山 勇さん



温暖化ガス削減の取組みが本格化する記事で火力発電所などから大量に発生する二酸化炭素(CO₂)を液化化して地中に高圧注入し貯留する技術が開発され、日本企業が欧米を凌ぐCO₂の回収、地中保留の仕組みの記事を読みました。長岡市地内のガス田でもCO₂の地中1,100mに注入する実験が数年前から何回か実地されております。その事業が中越、中越沖地震を誘発したとの学説が国会でも論議されたと聞きました。CO₂の地中保留は国際的な緊急の課題ですが近年頻発した大地震があり「地震ひずみ地帯」とされている本県での地中保留は安全性の確証を得る迄実験の中止を求めたいです。

農業の6次産業化を求める記事を読んで町内の

意欲的な法人がバイオ酵素液利用する栽培法を普及しており、私も関係があり野菜を栽培しておりますが、食味は良好で高品質の市場性の高い野菜が収穫でき、減農薬・減化学肥料、環境に優しい堆肥づくりも可能です。

次に開発畑に「米」の作付けを望む記事ですが、本町の基幹作物は「米」なので食文化を守り消費拡大に国を挙げて取り組み、減反政策も返上することが過疎化の歯止めとなり町の人口増の原動力となるので賛同したいと思えます。

12月議会を傍聴し某議員のバイオマスタウン構想の質問主旨には同感であり実現性には難点があっても町民に夢と希望を与える視点を高く評価しその検討を望みます。

「議会を傍聴させていただきました」

大割野 風巻さつ子さん



加齢とともに政治のこと、行政のことはとんと疎くなってしまった私ですが、このたび町の婦人会より議会を傍聴してみませんかとの要請があり、県下でも初めての女性議長さんが誕生した議会を一日拝見させていただきたく、仲間と受付で質問順番表をいただき傍聴席に着きました。前列に記者席があり、後の2列が一般傍聴席となっております。定刻の10時に議長さんのはっきりとした声で始まり、午前中に2名の質疑応答で終わりました。

私のような年寄りには直接的に関係のない内容

でしたので、仲間の方が前日来たほうが良かったかなと言っていました。テレビでも国会中継をたまに見ることがありますが、国会というところは何か人様の(与党・野党)の粗探しをして、たまには喧嘩ごしの答弁もありますが、町の議会は落ち着いた雰囲気の中での質疑応答で安心して聞くことが出来ました。この様にして議員さん方がいろいろな意見を出し合い、より住みよい津南町を作るために一生懸命努力してくださっている事を感じさせられた半日でした。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

元日以降穏やかな気候になり、本年1年も穏やかであるよう望むところであります。

昨年の議会改選により、議会広報特別委員会も新しいメンバーでのスタートとなりました。前期には全国奨励賞をいただいたこともあり、見ただけで読みたくなるようなそしてより一層読みやすい紙面作りをしたいと思っております。本議会での一般質問も昨年より一問一答方式となり、より深く広く質問することができそうですので、この辺も紙面に反映できればと思っております。

町民の皆様より叱咤を受けながらの四年間宜しくお願ひします。(根)

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 根津 勝幸 |
| 副委員長 | 半戸 哲郎 |
| 委員 | 藤木 正喜 |
| | 大島 知美 |
| | 福原 照男 |
| | 滝沢 茂光 |